MiTA

水島ポートニュース

Mizushima International Trade Association

2022/11/14

Vol. 76

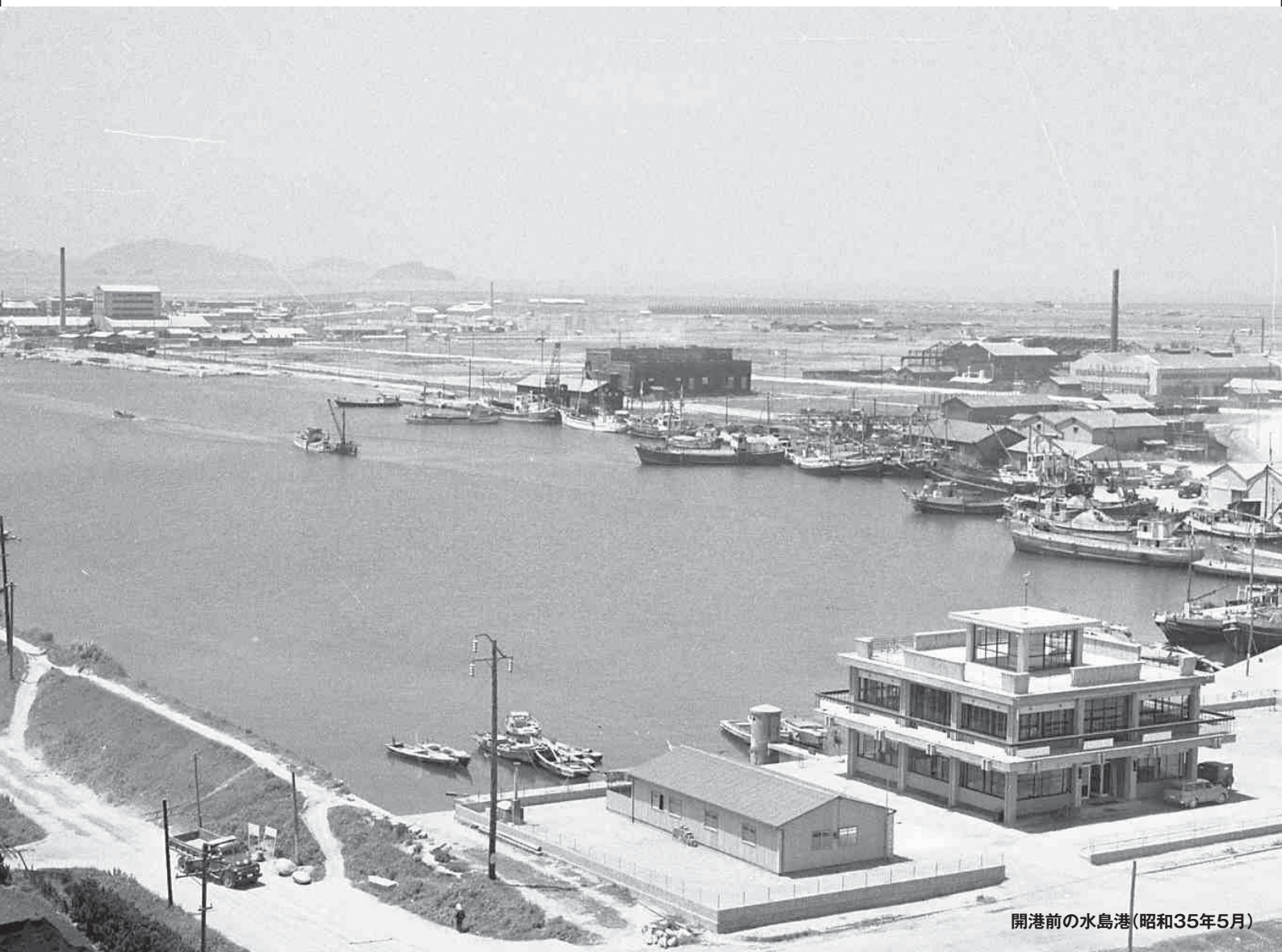
Contents

特　集

写真と年表で振り返る水島港の60年とMITAの25年

・写真と年表で振り返る水島港の60年とMITAの25年特集

・MITA総会開催報告　・MITA要望活動　・水島港見学会を開催



開港前の水島港（昭和35年5月）

定例総会を3年ぶりに対面形式で開催（令和4年6月23日）

総会開催状況

6月23日(木)、岡山市内のホテルグランヴィア岡山で第25回MITA総会を開催しました。

新型コロナウイルスの影響により、対面形式での開催は3年ぶりとなり、来賓、会員合わせて107名に御出席いただきました。

会の冒頭、MITA会長として壇上に立った伊原木岡山県知事は、「玉島ハーバーアイランド7号埠頭桟橋が供用を開始し、穀物などの安定的かつ安価な輸入の実現に向け、大型船を活用した効率的な海上輸送網の形成が進んでいる。今後も関係機関と連携し、水島港の機能強化に取り組んでまいりたい。」と挨拶しました。

総会では、MITA副会長である、岡山県商工会議所連合会の松田久会長が議長を務め、顧問の承認、役員の改選、令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画案及び収支予算案についていずれも承認されました。

総会後、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）の木村洋一総務部長に「コロナ禍における国際物流の混乱と企業の対応状況」と題して御講演いただき、活発な質疑応答も交わされました。

伊原木知事あいさつ

木村 洋一総務部長（ジェトロの）講演

講演要旨

◎コロナの感染拡大は、サプライチェーンに非常に大きな影響を与えた。最適地生産を考慮して綿密に作られていたサプライチェーンが大きなダメージを受けた。

◎国際物流の面においても、巣ごもり需要が急拡大した際に、輸送スペース、すなわちコンテナや船舶等の供給が追い付かず、港湾などで目詰まりを起こしてしまい、今もそれが続いている。解消するのは、コンテナやコンテナ船の供給が増える2023年か24年になるという見方もある。

◎世界的にみると、サプライチェーンに対する圧力は改善しているとも感じられるが、調査によると、日本企業においてはまだ実感できていない。

◎サプライチェーンに関して重要な地域が2つある。1つはアメリカ西海岸で、港湾荷役労働者の労使交渉の動向を注視する必要がある。もう1つは中国で、上海ロックダウンは解除されたが正常化には時間がかかることと、ゼロコロナ政策が続くため、別の場所で感染が再拡大して経済活動が制限されるというリスクもしばらくの間は続く。

※内容は講演時の情勢に基づいています。

特集 写真と年表で振り返る 水島港の60年とMITAの25年

水島港は、昭和37年（1962年）4月に関税法に基づく「開港」に指定され、国際貿易港としての第一歩を踏み出しました。本年は、それから60周年に当たります。
また、MITAは、平成9年（1997年）3月に、旧水島港湾振興会を発展的に解消する形で設立され、本年はそれから25周年となります。
今号では、こういった節目の年を記念し、写真と年表で水島港とMITAの発展の歴史を振り返ります。

水島港周辺を視察する三木知事（当時）一行/昭和32年2月（写真提供：岡山県立記録資料館）

水島港に初入港する外航船「プリンス・ダル」号/昭和35年8月（写真提供：岡山県立記録資料館）

西公共埠頭に整然と並ぶ自動車/昭和53年10月（写真提供：岡山県立記録資料館）

開港20周年を迎える/ 昭和57年8月（写真提供：岡山県立記録資料館）

初めての国際コンテナ航路開設（水島ー釜山）/平成7年9月

MITA設立総会/ 平成9年3月

国際コンテナターミナル供用開始記念式典/平成14年3月

水島港臨港道路（倉敷みなと大橋）開通式典/平成29年3月

玉島ハーバーアイランド7号埠頭供用開始/令和2年6月

水島港の定期コンテナ航路等の紹介

◆外貿定期コンテナ航路（2ヶ国1地域14航路 15便/週）◆

2022年10月末現在

曜日	航路名	船社	航路
月	大連	神原汽船㈱ Kambara Kisen Co.,Ltd.	天津新港(火)→大連(木)→青島(金)→福山→水島(月)→広島→細島→志布志→寧波(金)→上海(土)
火	韓国	高麗海運㈱ Korea Marine Transport Co.,Ltd.	蔚山(土)→釜山(土·日)→今治→水島(火)→福山→広島→松山→釜山(木·金)
火	大連	民生輪船股份有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	天津新港(火·水)→大連(木)→青島(土)→伊万里→福山→水島(火)→高松→広島→三田尻中関→天津新港→大連(土)→青島(土)
火	上海	民生輪船股份有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	上海(土)→福山→水島(火)→高松→広島→岩国→上海(土)
火	上海	神原汽船㈱ Kambara Kisen Co.,Ltd.	寧波(金)→上海(土)→伊万里→福山→水島(火)→広島→志布志→天津新港(火)→大連(木)→青島(金)
水	韓国	興亜LINE㈱ Heung A Line Co.,Ltd.	釜山(日)→福山→今治→松山→水島(水)→釜山(木)
木	台湾	ワンハイラインズ㈱ Wan Hai Lines Ltd.	大阪→水島(木)→福山→広島→基隆(月)→台中(水)→高雄(木)→香港(土)→大阪
木	韓国	汎洲海運㈱ Pan Continental Shipping Co.,Ltd.	釜山(月)→広島(火)→神戸→大阪→高松(木)→水島(木)→蔚山(金)→釜山(土·日)
木	韓国	カメリアライン㈱ Camellia Line Co.,Ltd.	釜山(新港)(土·日)→伊予三島→大阪→水島(木)→釜山(新港)(土·日)
木	韓国	南星海運㈱ Namsung Shipping Co.,Ltd.	釜山(金)→広島→伊予三島→松山→今治→伊予三島→水島(木)→博多→釜山(金)
金	韓国	高麗海運㈱ Korea Marine Transport Co.,Ltd.	釜山(水)→福山→高松→水島(金)→今治→細島→釜山(火)
金	上海	民生輪船股份有限公司 Minsheng Shipping Co.,Ltd.	上海(火)→三田尻中関→水島(金)→福山→三島川之江→広島→徳山下松→上海(火)
金	上海	神原汽船㈱ Kambara Kisen Co.,Ltd.	上海(火)→伊万里→福山→水島(金)→広島→大分→上海(火)
土	韓国	天敬海運㈱ C.K.Line Co.,Ltd.	釜山(水·木)→神戸→大阪→水島(土)→釜山(日)→仁川(月·火)→釜山(水·木)
土	韓国	長錦商船㈱ Sinokor Merchant Marine Co.,Ltd.	釜山(水)→広島→岩国→高松→水島(土)→釜山(日·月)

◆内貿定期コンテナ航路（4航路 8便/週）◆

曜日	航路	船社	航路
火土	神戸	㈱ユニエックスNCT Uni-x Nct Corporation	神戸→水島→神戸
火木	神戸	井本商運㈱ Imoto Lines ,ltd	神戸→水島→神戸
月木土	神戸	オリエント オーバーシーズ コンテナラインリミテッド 日本支社 Orient Overseas Container Line Ltd Japan Branch	神戸→水島→神戸
金	沖縄	南日本汽船㈱ Minami Nippon Kisen Co.,Ltd.	那覇→水島→大阪→那覇

昭和16年　工場用地等の造成と港湾施設、臨海鉄道の建設に着手
昭和23年　7月　港則法の「港域」に指定
昭和26年　8月　岡山県が港湾法に基づく港湾管理者となる
昭和28年　岡山県水島開発事務所設置
水深9m航路・泊地の浚渫工事と水島A地区の埋立工事を開始
昭和34年　2月　三菱石油㈱水島製油所（現ENEOS㈱水島製油所）のA地区立地決定
3月　中国電力㈱水島火力発電所のB地区立地決定
9月　日本鉱業㈱水島製油所（現ENEOS㈱水島製油所）のB地区立地決定
昭和35年　3月　旧玉島港を水島港に併合
6月　**港湾法の「重要港湾」に指定**、特定港湾施設整備特別措置法の適用港となる
8月　**外航船第1船「プリンス・ダル」号入港**
10月　水島港湾振興会発足（MITAの前身）
昭和36年　3月　原油タンカー第1船「祥和丸」入港
6月　川崎製鉄㈱水島製鉄所（現JFEスチール㈱西日本製鉄所（倉敷地区））のD地区立地決定
昭和37年　4月　**関税法の「開港」に指定（水島港開港）**
大型外航船100隻目入港、記念式典開催
12月　水島港港湾計画策定（その後逐次改訂）
昭和38年　1月　三菱化成工業㈱（現三菱ケミカル㈱岡山事業所）を中核とする石油化学コンビナートの立地決定
昭和39年　1月　岡山県南新産業都市の指定
3月　旭化成工業㈱（現旭化成㈱水島製造所）を中核とする石油化学コンビナートの立地決定
昭和42年　1月　玉島E地区工業用地の造成開始
3月　水島航路水深16mの浚渫完了
昭和44年　西公共埠頭整備工事完了
昭和46年　5月　船舶廃油処理場供用開始（平成26年4月廃止）
昭和49年　4月　港則法の港域を拡張し、「特定港」に指定
12月　港内大量流出油事故発生
昭和54年　9月　沖縄との間に貨物船定期航路開設
昭和57年　4月　開港20周年を迎える（8月に記念式典開催）
昭和58年　4月　国際海上VHF水島海岸局開設
昭和59年　11月　オーストラリア・アデレード港との姉妹港縁組締結
昭和62年　玉島E地区第2期人工島（現　玉島ハーバーアイランド）造成工事着手
昭和63年　6月　コンテナ定期航路開設（玉島地区4号埠頭～北海道）
平成4年　4月　開港30周年を迎える（7月に記念式典開催）
平成5年　玉島ハーバーブリッジ着工
平成6年　12月　アデレード港との姉妹港縁組10周年記念式典開催・水島ポートパーク開園
平成7年　9月　**国際定期コンテナ航路開設（玉島地区外貿埠頭～釜山港）**
平成8年　9月　玉島ハーバーブリッジ完成（10月に記念式典開催）
10月　玉島地区が港則法の「特定港」及び関税法の「開港」に指定、記念式典開催
平成9年　3月　**水島港インターナショナルトレード協議会設立総会**
7月　中国（上海）航路開設
8月　水島港整備に向けての要望活動（要望活動は以後毎年実施）
10月　中国（上海）ポートセールス（団長・石井知事）
水島港見学会開催（見学会は以後毎年実施）

平成10年　3月　第1回水島港セミナーin東京（セミナーは以後毎年実施）
4月　中国（上海）航路開設
7月　MITA総会でMITAのシンボルマーク決定
8月　**玉島地区の人工島の愛称を「玉島ハーバーアイランド」に決定**
11月　**水島港玉島ハーバーアイランド供用開始記念式典**
本県初のガントリークレーン設置
平成11年　3月～5月　韓国（釜山）航路開設（3月・5月）、台湾航路開設（4月）
フィリピン航路開設（5月）、中国航路開設（5月）
7月　玉島ハーバーアイランド多目的国際ターミナル整備事業起工式
「水島港FAZ輸入促進基盤施設等検討委員会」設置
10月　韓国（ソウル）・中国（大連、上海）ポートセールス
11月　中国（大連）航路開設
平成12年　1月　韓国（ソウル）ポートセールス
7月～12月　中国航路開設（7月）、台湾航路開設（10月・12月）
韓国（釜山）航路開設（12月）
平成13年　2月　**玉島ハーバーアイランドの港湾関連用地20haの分譲開始**
4月　**水島港地域がFAZ地域に編入**
6月　**水島港国際物流センター㈱設立**
8月　中国（厦門・福州）航路開設
平成14年　1月　中国（上海）ポートセールス
3月　タイ航路開設、韓国・中国航路開設
シンポジウム「みなとから世界へ・みなとから未来が」開催
水島港国際コンテナターミナル1バースが供用開始
7月　中国（大連・煙台）航路開設
10月～11月　中国（上海）航路開設
11月　大型客船「飛鳥」初寄港記念式典
平成15年　1月　中国（厦門）ポートセールス
1月～2月　中国（大連・青島）航路開設、韓国（釜山）航路開設
4月　**特定重要港湾に指定**
7月　「水島港港湾整備長期構想委員会」設置
8月　中国（上海）ポートセールス（団長・石井知事）
10月　中国（上海、天津、北京）ポートセールス
平成16年　2月　ベトナム（ハノイ、ホーチミン）ポートセールス
4月　**水島港国際コンテナターミナル2バース目の10m岸壁供用開始**
同ターミナルを水島港国際物流センター㈱に貸付開始
6月　中国（大連）ポートセールス
7月　韓国（ソウル）ポートセールス
9月　韓国（蔚山）航路開設
11月　日本港湾振興団体連合会の総会を開催
中国（張家港）、オーストラリア（アデレード）ポートセールス
平成17年　2月　中国（上海）ポートセールス
7月　鄭和航海国際海洋博覧会（上海展覧センター）への出展
10月　韓国（ソウル、釜山）ポートセールス
平成18年　2月　台湾（台北）ポートセールス（団長・石井知事）
3月　台湾（台北、基隆、高雄）ポートセールス
韓国（ソウル）ポートセールス
神戸税関水島コンテナ検査センターの稼働開始
4月　韓国航路（平沢、釜山）開設、中国（上海）航路開設
5月　LNG船入港記念式典
7月　水島港港湾計画改訂
9月　「中国（大連）国際友好都市交流会」出展
10月　中国（香港、上海）ポートセールス
11月　大型客船「飛鳥Ⅱ」初寄港
台湾（台北）ポートセールス

平成19年　2月　中国（大連）ポートセールス
4月　韓国（光陽、釜山）航路開設
11月　韓国（釜山）航路開設
中国（上海）ポートセールス
MITA設立10周年記念講演会
平成20年　5月　第2回日中韓物流大臣会合（岡山市）
平成21年　2月　中国（上海）ポートセールス
7月　韓国（ソウル）ポートセールス
平成22年　3月　韓国（ソウル、釜山）ポートセールス（石井知事参加）
11月　中国（大連、営口）ポートセールス
平成23年　1月　水島港臨港道路（新高梁川橋梁）着工記念式典
4月　**国際拠点港湾に変更**
5月　**国際バルク戦略港湾に選定**
韓国航路開設
7月　台湾（台北、高雄）ポートセールス
11月　中国（福州、厦門）ポートセールス
12月　地域活性化総合特区に指定
平成24年　8月　**水島港開港50周年記念式典**
平成25年　10月　タイ（バンコク、レムチャバン）ポートセールス（伊原木知事参加）
中国・フィリピン航路開設
11月　**水島港国際コンテナターミナル12m耐震岸壁及び6号埠頭供用開始**
平成26年　1月　**水島港国際物流センター㈱を港湾運営会社に指定［全国初］**
10月　韓国（ソウル、釜山）ポートセールス
平成27年　1月　韓国（釜山）航路開設
3月　韓国（釜山）航路開設
一般国道2号玉島・笠岡道路Ⅰ期開通
4月　**マリンタワー利用開始**
平成28年　1月　ベトナム（ハノイ、ハイフォン）ポートセールス
7月　中国（香港、広州、上海）ポートセールス
平成29年　3月　**倉敷みなと大橋開通**
10月　台湾（台北、高雄）ポートセールス
11月　MITA設立20周年記念講演会
1月　水島港国際物流ターミナル整備事業着工式典
平成30年　11月　韓国（ソウル、釜山）ポートセールス
水島港利用促進セミナー（岡山）を開催（以後県内で毎年開催）
11月　中国（上海、青島、大連）ポートセールス
令和元年　4月　玉島ハーバーアイランド4号埠頭に管理棟を建設
令和2年　6月　**玉島ハーバーアイランド7号埠頭（国際バルクターミナル）供用開始**
令和3年　12月　塩生埠頭桟橋（国際バルクターミナル）供用開始
（外貿定期コンテナ航路は、現在2カ国1地域14航路15便／週）
（内貿定期コンテナ航路は、現在4航路8便／週）

※令和2年度・3年度は、新型コロナウイルスの影響により、総会を書面開催に変更するとともに、水島港セミナー（東京）、水島港利用促進セミナー（岡山）、海外ポートセールス及び水島港見学会の実施を断念した。

MITA 水島ポートニュース 第76号
発行日=令和4年11月14日
発行者=水島港インターナショナルトレード協議会
〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4-6 岡山県土木部港湾課内 TEL.(086)226-7486 FAX.(086)227-5551

MITA要望活動

国への要望活動を実施

MITAでは国土交通省等に対し今年度の要望活動を実施しました。

7月28日(木)、菅要望団長(三菱自動車工業㈱水島製作所副所長)以下9名のMITA要望団は、国土交通省四国地方整備局小林次長他4名の幹部へ、8月8日(月)には、菅要望団長以下9名で国土交通省中国地方整備局中﨑副局長他5名の幹部への要望活動を実施しました。

また、8月2日(火)には、菅要望団長以下5名のMITA要望団が、顧問の橋本岳衆議院議員に同行いただき、国土交通省本省への要望活動を実施しました。

当日は、菅団長が渡辺猛之副大臣(当時)や堀田港湾局長等に直接要望書を手渡し、要望項目の内容について説明を行いました。

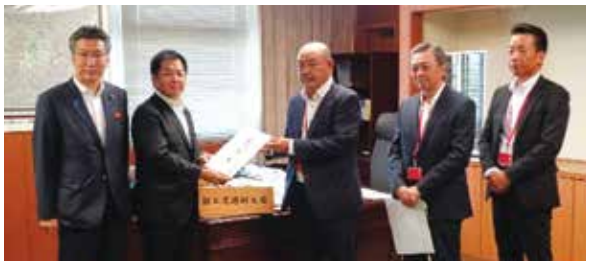
併せて、衆参両議員会館にて県選出国会議員(MITA顧問)の事務所に要望書を持参し、要望内容の実現に対する支援をお願いしました。

今後もMITAでは、水島港の発展のため要望活動を実施してまいります。

要望項目

①船舶の大型化に対応した港湾施設の整備促進
②浚渫土砂処分場の確保に向けた取組の促進
③備讃瀬戸航路の航行環境の改善

令和4年度MITA要望書


渡辺副大臣(左から2番目)に要望書を手交

堀田港湾局長(右端)に要望内容を説明

四国地方整備局での要望活動の様子

中国地方整備局での要望活動の様子

水島港見学会を開催

令和4年8月26日(金)に水島港見学会を開催しました。昨年度及び一昨年度は新型コロナウイルスの影響により開催を見送っていたため、令和元年度以来3年ぶりの開催となりました。

今回は、開催内容と対象者を見直し、MITA会員の皆様に、年々機能強化が図られている水島港の「今」を知っていただくことを目的として開催することとしました。

会員の皆様に参加を御案内したところ、おかげさまで定員を超えるお申し込みをいただきました。

当日は、まず、玉島埠頭から観光船「むくじ丸」に乗船いただき、水島地区・玉島地区の主な埠頭を海から見ていただきました。この日はちょうど、コンテナ船、穀物船、自動車運搬船、タンカーなど多くの船が荷役を行っており、水島港の活況を肌で感じることができました。

次に、バスに乗り換えて玉島ハーバーアイランド内を一周し、来年度新規に分譲を予定する第3工区や、港内の浚渫土砂などを受け入れて埋め立てが進む現場を御覧いただきました。

最後に、水島港国際コンテナターミナルに移動し、㈱東洋信号通信社の岡島様から、水島港VTISセンター(みずしまポートラジオ)の説明として、水島港内の船舶の動きをリアルタイムに把握し、安全かつ円滑な港内交通のための運航調整を24時間休まず続ける様子を、動画も交えて御紹介いただきました。

この見学会が、MITA会員の皆様にとって、水島港の新たな魅力発見の場として少しでもお役に立てれば幸いです。

御参加いただきありがとうございました。

今号の表紙／ 開港前の水島港(昭和35年5月)
(写真提供:岡山県立記録資料館)

MITA(水島ポートニュース)ホームページアドレス
http://www.optic.or.jp/MITA/ 携帯からはこちら▶▶